



ときわ便り



第6号 発行：ときわ病院 地域連携室

<ジョンから一節>

鉄道がらみのニュースが度々見られます。停電、架線の切断などで遅延が発生するのは日常茶飯事です。交通インフラの老朽化、ベテラン技術者の不足が要因と言われていますが、そればかりとは言えない事故も発生しています。新幹線の台車破損事故は、一歩間違えれば大惨事でした。異常を認識しながらも運転を継続した判断は安全軽視と言われても仕方ありません。安全神話は努力によってつくるもの、時には撤退する勇気も必要でしょう。

私生活においても同じです。円満な家庭は努力によってつくるもの。夫婦間のもめごとは、相手が鬼になる前に撤退します。そこには勇気など必要ありません。ただ退くのみです。鬼と戦う勇気など持ち合わせていません。

生活支援課

みなさんこんにちは。
生活支援課には、7名のソーシャルワーカーがいます。
私たちはご本人様、ご家族様が日常生活の中で抱える
困り事や悩み事を一緒に考えていきます。

例えば

- ・医療費の支払いで困っている
 - ・日常生活のことで心配事がある
 - ・仕事に就きたいけれどどうしたらいいかわからない
- 上記のこと等でどこに相談していいかわからないとき、
受付でソーシャルワーカーをお呼び下さい。
また、気軽に直接ソーシャルワーカーにお声かけください。

受付時間（予約制です）

平日 午前9時～午後4時半

土曜 午前9時～正午

- ・土曜は第2・4のみとなります。
- ・相談は無料です
- ・個人情報についての秘密は守ります。

